

みんなのた場

舞が紡ぐ地域の伝統 実りの秋に祈る繁栄

北上町女川法印神楽保存会

鎮守の森に囲まれた女川山祇神社は北上川河口付近と登米市津山町とを結ぶ女川地区の山間の奥道沿いにあります。江戸時代初期の勧請と言われ、その頃から奉納されてきた女川法印神楽は明治時代に至るまでに現在の形になりました。

毎年秋の神社奉祝祭では、日本書紀にある天地創造の物語、豊作を祈る舞が境内で演じられ、地区民が鑑賞します。

舞が降りる祭り独特の雰囲気は大人から子どもへ、そして地区の未来へと受け継がれます。神楽はその核として住民の心の奥にあります。



山祇神社奉祝祭で舞った「岩戸開き」



北上町女川法印神楽保存会の皆さん

文化財 たんぽう

104

出入司としての川村孫兵衛

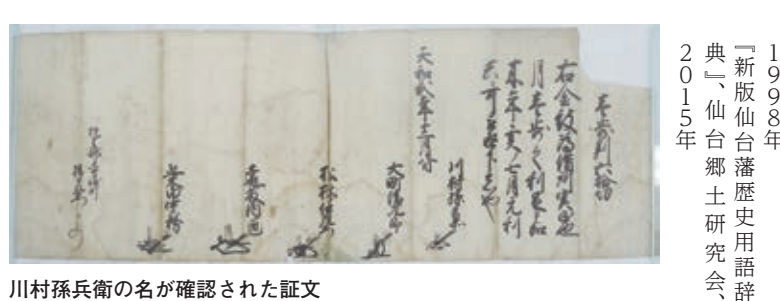
藩財政立て直しに腐心

生涯学習課

今年度新たに寄贈を受けた資料の一つに、天和2(1682)年12月8日付で仙台藩の役人が桃生郡寺崎町(現在の桃生町寺崎)の掃部左衛門から金吾歩判六拾切(十五両)を借用した際の証文があります。仙台藩の役人たちは、元金に加えて、月吉歩の利息を翌年7月に返済することを条件に掃部左衛門から金を借り受けました。興味深いのは、仙台藩の役人の中に「川村孫兵衛」の名を確認することができるところです。

ここに現れる川村孫兵衛は、寛永年間(1628~44年)に北上川を改修した川村孫兵衛重吉ではなく、重吉の養子となつて川村家を継いだ川村

孫兵衛元吉です。彼は仙台藩の出入司(藩の財政を司る役職)を勤めていました。それではなぜ孫兵衛をはじめとする出入司たちは、掃部左衛門からお金を借りなければならなかったのでしょうか。



川村孫兵衛の名が確認された証文

※参考文献
『宮城県史』第二巻「近世編 本篇二」、宮城県史刊行会、1966年
『石巻の歴史』第九巻「資料編三近世編」、石巻市、1998年
『新版仙台藩歴史用語辞典』、仙台郷土研究会、2015年

キラッとパチリ



石巻市立病院医師 くさか きよし 日下 潔 さん 71歳

がんの症状緩和を

平成29年11月から緩和ケア内科の部長を務めています。当病院の緩和ケアは、がんに伴う痛み、その他の苦痛な症状の治療やケアを最優先にする方針を掲げています。

「がんは痛みとの闘い」というのは大きな誤解ですが、それでも痛みが出る場合があり、さらに心のつらさなどもありま



【住吉幼稚園における食育の取り組み】

住吉幼稚園では、自分たちで育てた野菜や米を使って調理したり、さまざまな遊びに取り入れたりする活動に取り組んでいます。「カレー作り」「やきいも会」「もちつき会」といった例年の行事に加え、今年はJA女性部・青年部の皆さんの協力で、初めて「いもに会」も行いました。みんなで一緒においしく食べる喜びや楽しさを存分に味わっています。

食への興味・関心を高めながら、健康な心と体をはぐくむ望ましい食習慣の形成を目標に、家庭と協力して食育を進めています。

健康推進課(内線2428)

10/21 石巻 活気あふれる鮮魚の模擬競り

いしのまき大漁まつり



Topic of town まちの話題



「第29回いしのまき大漁まつり」が10月21日、石巻魚市場であり、7万2000人が訪れました。新鮮でおいしい魚介類、水産加工品の格安販売のほか、水槽内のサケやサバをたも網ですくう「鮮魚すくい取り」、70%のメバチマグロの解体ショーと試食会、抽選で選ばれた人が参加する鮮魚の模擬競りなど活気にあふれたイベントがあり、食の秋を満喫する一日でした。

10/20~27 雄勝 小・中学校合同でステージも

おがつ文化祭

雄勝地区で活動するサークルの成果を発表する「おがつ文化祭」が10月20日~27日、雄勝小・中学校を会場に開催されました。20日は雄勝小・中学校と合同で文化祭が行われ、コーラスサークルなどがステージで発表しました。また生け花サークルやお針子サークルなどの作品をはじめ、雄勝保育所の入所児の作品や雄心苑書道クラブの習字などが1週間展示されました。



10/28 河北 地元の産業と食、文化楽しむ

フェスティバル・イン・かほく

産業まつりと文化祭を兼ねた「2018フェスティバル・イン・かほく」が10月28日、河北総合センターを主会場に開かれました。新米や野菜などが当たるビンゴ大会や餅つき大会が行われたほか、長面浦産ムール貝や追波湾産サケを使った「ちゃんちゃん焼き」が無料で振る舞われました。文化祭では民謡やコーラスの披露、書道や写真などが展示され、来場者は楽しいひとときを過ごしました。



10/6 桃生 植立山公園にパークゴルフ場

36ホールオープン

市が整備した桃生植立山公園パークゴルフ場が10月6日にオープンしました。亀山紘市長が始球式でティーショットをした後、桃生パークゴルフ協会のメンバーらが、芝生の感触を楽しみながらプレーをしました。以前のゲートボール場6面とマレットゴルフ2コース18ホールを改修。1万8800平方メートルの敷地内に4コース36ホールを備えています。



11/3 河南 文化の彩り 環境保護にも関心

かなんまつり

第27回かなんまつりが11月3日、遊楽館で開かれ、陶芸や押し花などの作品展示をはじめ、河南西中学校吹奏楽部の演奏、伝統の神楽、歌や舞踊のステージがありました。地場野菜や米の消費拡大、野菜料理の試食、出店もあり、多くの人でにぎわいました。同時開催の「環境フェア2018かなん」では、洗剤の詰め替えパックなどを原料に作った遊具などが関心を集めました。



11/10 牡鹿 小・中学生 和太鼓や合唱を披露

クリスマス演奏会

「東北電力クリスマスドリーム」と題した音楽イベントが11月10日、牡鹿中学校で行われ、旧牡鹿町内の小・中学校4校の児童生徒が和太鼓や合唱を披露しました。大漁はんでんに身を包んだ中学生の迫力ある和太鼓演奏では、父母や地域の人が盛んな拍手で熱演をたたえました。このイベントは子どもたちの豊かな心を育もうと、東北電力が25年前から毎年開催しています。



10/17 北上 住民の意向聴取へアンケート

自治システム準備検討会

北上地域まちづくり委員会の下部組織「自治システム準備検討会」の第3回協議が10月17日、にっこり集会所で開かれ、市が進める「地域自治システム」を活用したまちづくりの方向性を定める住民アンケートの実施を決めました。来年3月までには、住民報告会を開く予定です。震災後、新たな地域課題が浮上する中、北上地区ならではの推進策を取りまとめます。

